

# 1. 2022年度 事業報告

## 【1】広島港の利用促進に関する活動

### ① 国内外ポートセールス活動

- ・広島港のPRを目的とした広島港振興協会主催「広島港セミナー」が2021年度より新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWeb開催されていたが、今年度から会場開催が再開された。しかしながら、会場開催は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、規模を縮小して執り行われた。(開催日:1月25日)

開催状況≫ ・セミナー終了後の意見交換会の立食は中止。  
・会場参加者:106名(2020年:226名(▲120名))

- ・本年度も東京会場での開催は見送った。

### ② 関係諸機関との連携強調

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、約2年 当会主催の連携協調イベントも中止を余儀なくされたが、感染者数の減少、行政からのWithコロナ(新型コロナウイルスとの併存)等の指針が示されたこともあり、段階的に活動を再開した。
- ・再開にあたっては、広島県 環境県民局 環境政策課の協力を賜り、広島県のカーボンニュートラルの取り組みについて、ご講演いただいた。テーマ:「環境負荷の少ない持続可能な社会の実現に向けた広島県の取組」～2050ひろしま ネット・ゼロカーボンに向けて～(参加者:約40名)

## 【2】研修会等の開催、参加

### ① 研修会/講演会への参加

- ・広島県ほか関係官庁、諸団体が開催する研修会,Web会議等へ積極的に参加した。

### ② 海外トップ研修会の企画開催

- ・研修候補地の新型コロナウイルス感染,対策状況等を旅行会社へ確認し、開催の検討を行ったが、候補地の感染拡大も著しく、中止をやむ無しと判断し、開催を見送った。

## 【3】港湾関係合同行事の開催

### ① 広島港合同賀詞交歓会の開催

- ・港湾3団体(広島みなと振興会,広島地区港運協会,日本関税協会神戸支部広島協議会 通関部会)と広島港関係行政による賀詞交歓会について、開催に向けた諸検討を繰り返したが、3団体代表による判断で中止を決定した。

### ② 三団体合同カープ観戦ツアーの開催

- ・広島みなと振興会, 広島地区港運協会, 広島県倉庫協会の3団体共催の野球観戦は、コロナ禍にあり見送った。

## 【4】広島港の振興及び啓蒙活動

### ① 「港湾研究会」の開催

- ・ 毎月第2水曜日(14時00分～)開催を定例とし、課題事項等を会員及び関係官庁、諸団体から幅広く募り、多岐にわたり検討/意見交換を行ってきたが、直近約2年は新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら、中止と再開を繰り返してきた。この状況下、今期上半期は2回の開催に留まったが、下半期は感染者数の減少、Withコロナの指針等から計画通り5回の開催を行った。
- ・ また行政(広島県)からの情報展開の要望案件等が港湾研究会では遅い/間に合わない場合は、E-mailを積極的に活用し、会員皆様へ早期情報配信を行った。

### ② 安全啓蒙・地域交流活動

- ・ 広島市立広島特別支援学校の教員と生徒、PTAとの安全啓蒙・地域交流会において、2019年度にトレーラー試乗会を開催し、次年度にコンテナターミナル内の見学会を計画していた。しかしながら、2021年度に続き、2022年度もコロナ禍にあり開催を見送った。

### ③ 広島みなと振興会ホームページ

- ・ ホームページを活用し、当会活動実績の情報公開を行った。

### ④ 広島港長期構想計画の実行

- ・ 2018年9月 広島県ホームページに公開された「広島港長期構想計画」に対し、広島県と適宜実行状況を確認し、当会の要望(出島埋立地区の早期使用可能な整備要請等)を示した。

### ⑤ 港湾荷役作業員 担い手の確保

- ・ 当会 港湾事業者 各社が次世代 港湾荷役作業員を一人でも多く確保するための活動を推進する中、中国地方整備局 中国地方国際物流戦略チームの広報と連携し、広く一般の方にも港湾荷役を知ってもらうため、港湾荷役作業風景(広島国際コンテナターミナル内)を動画撮影いただいた。  
動画は 中国地方国際物流戦略チームの公式サイトにアップされ、当会公式サイト及び 会員会社の 公式サイトからもリンク、閲覧できるよう活用いただいている。

### ⑥ G7広島サミット開催における協力

- ・ 2023年5月19日～21日の期間、広島でG7サミットが開催されることが決定し、サミット成功に向け、当会 港湾事業者として最大限協力するため、警備艇係留バースの調整、交通量抑制の対応策等、関係行政と協議、調整を行った。